

◎町民の皆さんから皆さんへエッセイ
をつないでいくコーナーです。お誘いが
来たらぜひ書いてくださいね。

みんなであつないで リレーエッセイ

青春といえは、学生時代ですよね。わたしの今の青春は、剣道です。といつても少年時代から習っていたわけではなく、わたしの子どもが習い始めたのがきっかけです。子どもを稽古に連れて行き、見てみると日々、「剣道をやってみたい」と心底に芽生えてきました。タイミングが良かったのか、運命とは言い過ぎですが、わたしにはもったいないほどの防具が手に入り、稽古ができるようになりました。

「剣道は奥が深い」。見ているのと、するのでは全く違い、なかなか体が思うように動かず、一つ一つの技を打つことが簡単にはできません。それでも稽古を続けていると、少しずつですが技が正確に打てるようになったとき、とてもうれしく、励みにもなります。達成感は何事にも代えられないほど。もはや剣道のとりこです。

運良く、妻、息子、娘の家族全員が剣道をしていて、わが家は剣道一家。妻も子どもにも魅せられて始めました。わたしより剣道歴が長い息子、娘。2人にはい

30代の青春

高藤 哲雄さん (本町)



族や周りの皆さんのおかげで剣道が続けられています。ありがとうございます。

次は四段昇段に向けて日々精進していきたいです。今後も子どもたちに元気を分けてもらいながら、わたしの青春を楽しみたいと思います。皆さんも青春を楽しみましょう。

次は、高橋秀幸さん(中町)にお願いします。

ろいろな面で、多くのことを教えてもらいます。そして、わたしたち夫婦の会話はもっぱら剣道のこと。稽古が終わり帰宅して、「今日はどうだった、こうしたら一本取れるかな」などと話が弾み、夜更かしすることもしばしば。剣道は2人の共通の趣味の一つです。



女子ソフトで全国選抜大会に出場 宮岡 岐興さん(済美高3年) 柿原

3月18(22)日に三重県熊野市で開かれた「第28回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会」に出場した宮岡岐興さん。レフトのレギュラー選手として活躍しています。

宮岡さんの持ち味は勝負強いバッティングと球際に強い守備力。1年生の夏に同校がインターハイに出場したときもベンチに入りました。

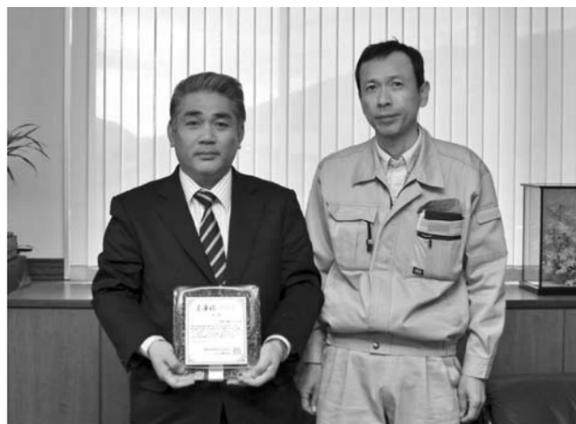
ソフトボールの魅力を「点差があっても1球で試合展開が変わるので、あきらめずに戦えば逆転できること」と語る宮岡さん。ほぼ毎日ある厳

しい練習を積み重ねて試合でヒットが打てたときは、喜びも大きく、努力の大切さを実感すると言います。

「チームは明るいメンバーばかりで、一緒にきつい練習をしてきた分、きずなが深まり、何でも分かり合える仲間ができた」と話す宮岡さんに、夏に向けての目標を尋ねると「みんなで1点を守りきる自分たちの試合で県総体で優勝し、春夏連続の全国大会出場を果たしたい」と力強く語ってくれました。

若者と大人。異なる世代の皆さんに今頑張っていることや楽しんでいることを聞きました。「キラリと光るエコロジータウン・内子」の光の源です。

内子町の 人★キラリ



三浦保環境賞大賞を受賞

新興工機株式会社(松前町)

環境保全活動などに取り組む県内の企業や団体に贈られる「第6回三浦保環境賞」の大賞を受賞した新興工機株式会社(福田和明代表取締役)。同社は、自社でバイオマスペレット製造機を開発。家畜の飼料とする竹ペレットの製造研究に取り組んでいます。

竹ペレットは、竹に廃棄物として処分される「おから」や「しょうゆかす」を混ぜ合わせて作ります。現在、原料となる竹は論田地区を中心にすべて内子町内から切り出したものを使用。あわせて放置竹林の整備も進めています。

2月8日に開かれた「内子町環境子ども会議」にも参加協力し、ペレットの製造実演などを行いました。

賞を受けて福田代表取締役は「竹ペレットは竹を搬出するコストがかかるため輸入飼料より割高になる課題があるが、地域と連携し、消費者を巻き込んで使うメリットをアピールしたい。そしてビジネスとしてだけでなく、賞にふさわしいように地域の環境や景観保全に貢献していきたい」と語っていました。